



野田小だより

学校教育目標

- がんばる子
- やさしい子
- 学びつづける子

平成27年 9月 1日



9月 リセット

39日間の夏休みが終わり、子どもたちの歓声が学校に戻ってきました。

今年の夏は、高い気温の日が多く、人間にとっても、植物にとっても、厳しい日が続きましたが、きっと子どもたちは、いろいろな経験を通して、休み前より一回り大きく成長できたことと思います。

さて、41歳を過ぎてなおアメリカ大リーグ野球で大活躍しているイチロー選手のことは、誰もが知っていると思います。そんなイチロー選手も、2005年のワールド・ベースボール・クラシック大会の時、自分のバッティングの迷いを誰にも相談できずにいたそうです。迷った挙句、日本チームの王貞治監督に相談したそうです。すると、王監督は「おれもそうだった」と答えたそうです。イチロー選手は「尊敬する王監督が迷うくらいだから、自分が迷うのは当然だ」と悩みは吹っ切れ、練習に専念することができ、大会では大活躍をしたそうです。

何が成功で何が失敗かの判断基準は、人によって異なりますが、社会的に成功した人の多くは、失敗や悩みによって目標を諦めず、どうすればうまく行くか、チャレンジし続けた人というデータがあるそうです。逆に言えば、失敗したらすぐに諦めてしまう人にとって、物事はなかなか成功しないということなのではないでしょうか。

「過去」は、決して変えることはできません。でも、未来はいくらでも変えることができます。

幸い、学校には1学期、2学期、3学期と気持ちを切り替えることができる区切りがあります。

子どもたちが、自分の目標を目指して頑張っていけるよう、全職員で新たなスタートを応援してまいります。

校長 三澤 仁生



大きな穂を付けた稲



1.5メートルにも伸びたクワイ



通学路の点検



小学校3校と美園中との合同研修